

募集班長の模型部屋(第22回)

皆さん遅れましたが、あけましておめでとうございます。今年も「募集班長の模型部屋」をよろしくお願いいたします。さて、年末年始のお休みはどのように過ごされましたか？私は今年も秋葉原での模型の買出しでした。娘もアニメが好きなので、ちょうど良いデートとなりました。ただ、アニメの中に出てくる美少年たちに熱を上げる娘達・・・なんか面白くありません。

さて、今年の最初を飾るのは・・・

特2式内火艇（後期型）です。

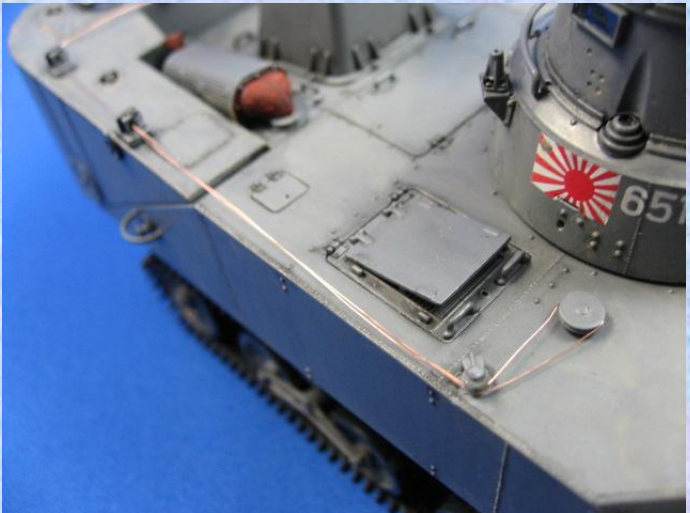
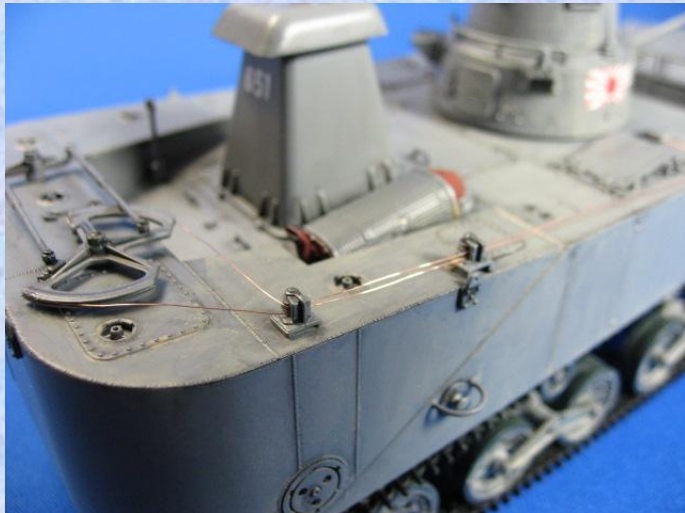


以前、第6回でも紹介した特2式内火艇の後期型で、フロートが付いた状態でのキットとなります。同じく「サイバーホビー」から発売されているものです。シャープなモールドで素晴らしいキットです。スクリュウ推進なので、キャタピラで推進する自衛隊の「73式装甲車」より水上速度ははるかに速そうです。購入してから箱をしばらく眺めていましたが、押入れのキットが増えてきたので思い切って作ることにしました。

説明書の部品番号間違いがたまにありますが、とても作りやすいキットです。フィギュアが付かないのが残念ですね。海軍陸戦隊の戦車兵が欲しいところです。



やっぱりフロートが付かないと、水陸両用戦車と分かりませんよね。以前、アリマ（現イエローキャット）のガレージキット（募集班長の模型部屋：第6弾で紹介）を作ったときに、省略されていた部品もあったのですが、このキットのおかげで細部が分かりました。メーカーの努力が伺えます。



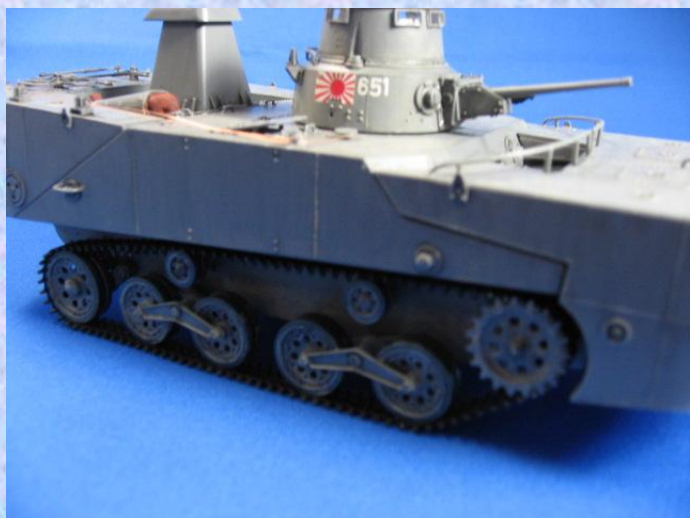
特にこの操舵装置です。ワイヤーで車内から操作するんですね。キット封入の銅線では硬くて取り付けが出来なかったので、0.05ミリの帆船模型用の銅線で張りなおしました。



カンニングタワーというか、防波塔と言うのかな？実車写真で見たことはあるのですが、ガラス部と車内吸気の為か単なる視察孔になっているところがあるのが面白いです。



で、接着する事がもったいないので乗せているだけにしています。なので、車内の状況やタワーをつけない状況での姿も見事や、後にフィギュアを乗せる事も出来ます。



フロートが付いているということは上陸直後なので、足回りのウェザリングはタミヤウェザリングスティックのみで軽く施してます。あと、上から下へ流れる埃ややオイル跡を薄めたエナメル塗料で再現



水上操縦は容易なのかどうか分かりませんが、上陸用舟艇たる形状は各国戦車の中でも独特です。



で、同社から発売された日本陸軍歩兵と並べてみました。クリスマスイブの夜に、娘と一緒に「ザ・パシフィック」を全話観ました。ちょっとクリスマスの夜にはふさわしくなかったですね（笑）なんかバタバタ倒れる日本兵に胸が詰まりそうです。あのシーンを彷彿とさせます。



さて、次回は自衛隊車両を予定していますが・・・どうなるか分かりません。またお付き合いください。